【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成27年4月16日(2015.4.16)

【公開番号】特開2013-180106(P2013-180106A)
【公開日】平成25年9月12日(2013.9.12)
【年通号数】公開・登録公報2013-050
【出願番号】特願2012-46826(P2012-46826)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成27年2月26日(2015.2.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
傾動可能な電動役物と、所定条件の充足により遊技者にとって有利な特別遊技状態の生起の有無を決定する決定手段と、図柄を表示可能で、当該図柄を確定表示した際の表示態様によって、前記決定手段による決定結果を遊技者に報知するための図柄表示部と、当該図柄表示部における表示及び前記電動役物の傾動を制御する制御手段とを備えており、
前記図柄表示部は、前記電動役物に配置されて共に傾動可能とされており、
前記制御手段は、所定の遊技条件が満たされると、前記電動役物を傾動して前記図柄表示部を傾動させると共に、前記図柄表示部における前記図柄の表示位置を、前記図柄表示部を傾動させないときの表示位置に対してずらす
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
上記目的を達成するために、請求項１に記載の発明は、傾動可能な電動役物と、所定条件の充足により遊技者にとって有利な特別遊技状態の生起の有無を決定する決定手段と、図柄を表示可能で、当該図柄を確定表示した際の表示態様によって、前記決定手段による決定結果を遊技者に報知するための図柄表示部と、当該図柄表示部における表示及び前記電動役物の傾動を制御する制御手段とを備えており、前記図柄表示部は、前記電動役物に配置されて共に傾動可能とされており、前記制御手段は、所定の遊技条件が満たされると、前記電動役物を傾動して前記図柄表示部を傾動させると共に、前記図柄表示部における前記図柄の表示位置を、前記図柄表示部を傾動させないときの表示位置に対してずらすことを特徴とするものである。
なお、上記発明にあって、前記制御手段は、前記図柄の表示位置を、傾動方向に沿う方向にずらすとした構成を採用することも可能である。そして、そのような構成を採用することにより、上記効果に加えて、擬似的な重力由来の滑りを表現する等、より一層傾動に

連関した興味深い図柄の表示を提供することができる、という効果を奏する。
また、上記発明にあって、前記制御手段は、前記図柄におけるずらした側の一部を図柄表示部からはみ出させて切れたように表示するとした構成を採用することも可能である。そして、そのような構成を採用することにより、上記効果に加えて、興趣有るずれ表示を強調したり、更に変化に富んだ表示を提供したりして、より斬新な印象を与える遊技機を提供することができる、という効果を奏する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
請求項１に記載の発明によれば、図柄表示部の傾動に従って図柄の表示位置をずらす。よって、図柄表示部の傾動及びこれと連関した図柄の表示の組合せにより、迫力のある印象を与えることのできる遊技性の高い遊技機を提供することができる、という効果を奏する。